

放生津だより

ポッポとクック

第 9 号
令和 5 年 1 月 24 日



3学期が始まり、半月ほど経ちました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といわれるように、3学期は一年の中でも、最も短く月日が経つのが速く感じられる学期です。始業式では、子供たちに「3学期は一年間のまとめの学期であるとともに次への学年の準備の学期である」という話をしました。6年生にとっては、小学校6年間のまとめであるとともに、中学校生活への準備期間となる大事な学期となります。

子供たちは、年の始めや3学期の始めに立てた目標に向け、「レッツチャレンジ」の精神で頑張っているようです。今学期も、子供たちの思いを支え、全教職員で力を合わせて取り組んでまいります。どうぞ今後とも、ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。



それぞれに チャレンジ! パート7



全学年 「書初め大会」(1/10)

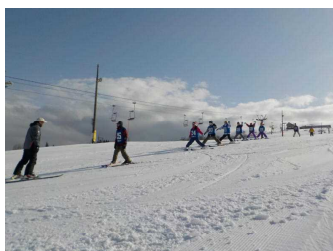
3学期の始業式後に校内書初大会を行いました。1・2年生は教室で、3～6年生は体育館で行いました。凜とした空間で、これまでの練習の成果を出せるよう、真剣な表情で揮毫しました。

1年生「へいわ」 2年生「あく手」 3年生「明るい心」 4年生「春の立山」 5年生「雪の大地」 6年生「強い信念」という課題を、1・2年は硬筆3年以上は毛筆で、力強く書き上げました。



5・6年生 「牛岳でのスキー学習」(1/18)

雪不足を心配しましたが、無事にスキー学習を開催できました。5つのグループに分かれ、それぞれの目当てに向け取り組みました。技能も向上し、楽しい時間を過ごせたようです。





学校教育に関するアンケート結果について(2学期末実施)

2学期末に行わせていただいた「学校教育に関するアンケート」の結果を報告します。お忙しい中、ご回答いただきましたことに深く感謝いたします。本アンケートの結果やいただいたご意見等を謙虚に受け止め、今学期以降の教育活動に活かしてまいりたいと思います。

4段階評価で、「そう思う」と、「ややそう思う」を選んだ人の割合を%で表しました。

番号	質問内容	評価結果	前回との差 ※補説
1	学校は、学校だよりや学年だより、ホームページ等で、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	94%	-5
2	学校は、子供が学校行事(学習参観・運動会・校外学習)等を通して成長することができるよう工夫している。	99%	
3	学校は、子供のことについて気軽に相談できる雰囲気がある。	91%	
4	学校は、子供たちに目標や目当てをもたせて粘り強く取り組めるよう、励ましたり声かけをしたりするよう努めている。	92%	-4
5	学校は、子供たちのよいところを見つけて認め励ますように努めている。	93%	-4
6	お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。	93%	-2
7	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはん、メディアルールの遵守等、基本的な生活習慣が身に付いている。	68%	-9 ※①
8	お子さんは、健康な体づくりを目指して運動や遊びに積極的に取り組んでいる。	86%	-7
9	お子さんは、思いやりのある親切な行いや言葉遣いをしている。	88%	+1
10	お子さんは、自分から明るく元気にい家族や地域の方に挨拶をしている。	87%	+5
11	お子さんは、家の手伝いをしたり、地域の行事に進んで参加したりしている。	81%	+1
12	お子さんは、学習したことが身に付いている。	80%	+4
13	お子さんは、毎日、学年かける10分間の家庭学習に取り組んでいる。	69%	-3 ※②
14	お子さんは、学校や家庭でよく本を読んでいる。	54%	+1 ※③

※補説及び改善への方策

- ① 前回は下回る結果となっています。子供自身が、自分の生活について気にかけることができるよう、3学期は各教室で「自分自身とメディアとの関わり」に関する授業を行います。メディア時間や生活リズムに対する課題を見付ける機会とし、少しでも改善が図れるようにしたいと考えています。ご家庭での声かけ等、よろしくお願いします。
- ② 3学期も、復習時間をしっかりと取り、基礎・基本の定着を図っていけるよう声かけをします。また、「家庭学習ノート」の使い方や家庭学習について指導を継続し、自ら学習する内容や時間を調整する力を高めたいと考えています。
- ③ 学校では、読書ボランティア「ポッポの会」による読み聞かせや、教職員による読み聞かせを行い、少しでも本の世界に親しめるよう取り組んでいます。休み時間には進んで図書室に行き、読みたい本を手取る子供たちの姿も見られ、貸出目標冊数の達成者もどんどん増えてきました。今後も、本を読むことの有効性(知識量の増大や想像力、思考力、集中力、コミュニケーション力が身に付くなど)を伝えていきます。より一層本を身近に感じることでできる子供たちに育ってほしいと願っています。